

9月8日 使徒言行録21章1～36

【解説と黙想】

パウロの逮捕

20章においてパウロとエフェソの長老たちとの別れが記されていた。その中で、パウロは、神が自らに与えている使命を長老たちに話している（20：22～24）。「そして今、わたしは、“霊”に促されてエルサレムに行きます。そこでどんなことがこの身に起こるか、何も分かりません。ただ、投獄と苦難とがわたしを待ち受けているということだけは、聖霊がどこの町でもはっきり告げてくださっています。しかし、自分の決められた道を走りとおし、また、主イエスからいただいた、神の恵みの福音を力強く証しするという任務を果たすことができさえすれば、この命すら決して惜しいとは思いません」。

21章はパウロが神によって「決められた道」を走り通すことが表されている箇所であると言える。

①エルサレムまでの旅路

パウロは旅の途中でエルサレムへ行かないようにと説得される（4節、12節）。しかし、パウロがエルサレムへ行く道は聖霊において「決められた道」であった。彼は命をかけてでもエルサレムへ行く決意が与えられていた。パウロ決意の言葉を聞いた人々もまた最終的に「主の御心が行われますように」という言葉を発する。この言葉は使徒言行録と同じ著者ルカが記したルカ

による福音書の主イエスのゲッセマネの祈りを想起させる。「……しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください」。パウロも、パウロの周囲の人々も、すべての言動が神の御心の中に集約されていく。

②エルサレムでの逮捕

エルサレムにいた使徒ヤコブや長老たちはパウロの報告を喜ぶ。しかし、律法を遵守するユダヤ主義者からパウロが非難を向けられることを危惧し、妥協策を提示する。パウロはこれを受け入れたが、結果的にパウロが神殿の境内に入ると暴動が起こり、捕らえられることになる（これまでの迫害預言の実現）。しかし、これがローマに向けて宣教する機会へと繋がっていくことになる。

黙想

使徒言行録は主イエスの昇天後、聖霊によって神のご計画が果たされていく様子を記している。当該箇所においてパウロは、神のご計画を実現するための勇気、決断、力を与えられている。それぞれに神から「決められた道」がある。そして、そのために聖霊なる神は必要なものを備えてくださる。神のご計画は必ず実現する。（大宮季三）

《参照箇所》 使徒言行録20章17節～24節

《教理問答》 「子どもと親のカテキズム」問2、34

9月8日 使徒言行録21章1～36節

【説教展開例】

パウロの逮捕

◇----- 単元のねらい -----◇

キリストが私たちの内に生きておられるから、迫害の中でも宣教は進むことを信じる。

「パウロを導く神」

今日も使徒言行録を開いていますね。少し難しい漢字が並んでいますが、ここには、イエスさまのことが世界中へと広がっていったときの様子が書かれています。イエスさまは十字架にかかり復活された後に天に昇られましたが、何もしなくなったわけではありませんでした。イエスさまは目には見えなくなりましたが、イエスさまのことを宣べ伝えることができるように聖霊を送って、弟子たちと一緒にいてくださいました。

今日出てくるパウロという人は、イエスさまのことを世界中に宣べ伝えるために選ばれた人でした。この時代に一番大きな都市はローマでしたが、使徒言行録は、パウロがローマへ着いて、そこでイエスさまのお話をするところで終わります。今日の箇所は、パウロがローマへとたどり着くきっかけとなった出来事が記されています。

みんなは神さまから「これをしなさい」と言われたことはありますか？ パウロには、神さまからやるべきことがはっきりと教えられていました。パウロは「苦しいこと」「牢屋に入れられること」が待っていることを神さまから教えられていました。(20：22～24)。

みんなはもし、「苦しいことが待ってい

ます」「牢屋に入れられます」と言われたらどうですか？怖くなりますね。逃げたくなりますね。でも、パウロは「イエスさまのことを伝える」ためなら、「苦しんでもいい」「牢屋に入れられてもいい」と言うことができました。イエスさまと一緒にいて下さって、パウロを強くしてくださっていました。

さて、パウロはエフェソというところから、船に乗ってエルサレムに向かいます。船は途中でティルスという所に到着しましたが、パウロはそこでいろんな人と会いますが、彼らはパウロに何と言ったでしょう？「頑張ってエルサレムに行ってきたください！」とは言いませんでした。彼らはパウロに、「エルサレムには行かない方がいいですよ」と言いました。

なぜでしょう？彼らも、パウロが苦しむことがわかっていたからです。エルサレムに行けば、苦しいこと、そして牢屋に入ることがわかっているからこそ、パウロを止めました。パウロに「そんな苦しみにはあつて欲しくない」という思いがあるからこそ、彼らはパウロを止めようとしていました。

しかし、パウロはこう言います。「主イエスのためならば、エルサレムで捕まるところか、死んでもいい」(13節)。びっくり

するような言葉です。パウロは、自分が嫌な思いをしてでも、死んででもしなければならぬことをしっかりと知っていました。パウロにとって一番大切なことは、自分の体ではありませんでした。神さまに決められている役割を果たすことが、パウロにとって一番大切なことでした。こうしてパウロは、エルサレムへ向かいます。

パウロがエルサレムに着くと、イエスさまを宣べ伝えている他の仲間たちに会います。ここで彼らは、パウロが捕まらないように作戦を立てます。しかし、彼らの作戦は失敗してしまいます。パウロは捕まり、鎖でしばられることになります。作戦を立てたのですが、作戦は失敗しました。残念な結果に見えますね。しかし、よく考えると、神さまの決められていた通りのことがここで起きているんですね。

パウロがエルサレムに行くことを止めた人たちがいました。しかし止めることができませんでした。また、パウロが捕まらないように作戦を考えた人たちがいました。しかし、パウロは捕まってしまいました。人間はいろんなことを考えますが、人間の考えを超えて、神さまのお考えが実現して

いきました。

ここで捕まったことがきっかけとなり、パウロは世界の中心であるローマへ行くことになります。

神さまのお考えが実現するように、イエスさまはパウロと共にいてくださいました。パウロはイエスさまと共にいてくださったので、力強く進んでいくことができました。

パウロと共にいてくださった神さまは、今も働いておられます。イエスさまのことが伝えられているところには、神さまの大きな力の働きがあります。私たちはこうして、今日も聖書のお話を聞いていますが、今ここにも同じ神さまの働きがあります。

教会で毎週、聖書のお話を聞いていて、毎週楽しいですか？ 時には、つまらないなあと思ってしまうこともあるかもしれません。しかし、教会で毎週聞いているイエスさまのお話は、パウロが捕まってでも、命をかけてでも伝えたかったことです。人間が命をかける価値のある話を、私たちはこうして聞くことがゆるされています。

(大宮季三)

《今週の暗唱聖句》

そのとき、パウロは答えた。「泣いたり、わたしの心をくじいたり、いったいこれはどういことですか。主イエスの名のためならば、エルサレムで縛られることばかりか死ぬことさえも、わたしは覚悟しているのです。」(使徒言行録21章13節)

9月8日 使徒言行録21章1～36節

【幼稚科】

パウロの逮捕

〈展開例〉

パウロ先生は、エルサレムの教会の人達が困っているのを知って、教会の人たちに献金を届けようと思いました。パウロ先生のお友だちたちは、パウロ先生がエルサレムで悪い人たちに捕まってしまうと思って、エルサレムに行くことをやめさせようと思いました。パウロ先生はエルサレムの教会の仲間たちを心配していますし、パウロ先生の友だちたちは、パウロ先生のことを心配しています。

でもそれ以上にイエスさまがパウロ先生のことを心配してくださっていて、守ってくださる。エルサレムの教会の人たちのことも心配し、守ろうとしていてくださ

る。パウロ先生は、そのことをよく知っているから、イエスさまがエルサレム教会を助けることができるように、お手伝いしようとしてるんですね。

みんなも、誰かのことを心配したり、誰かを助けたりして、イエスさまのお手伝いすることがある？

〈お祈り〉

神さま、イエスさまが私たちのことを心配し、守ってくださり、ありがとうございます。どうか私たちもイエスさまをお手伝いして、他の人を助けることができるようにしてください。

ゲーム〈震源地ゲーム簡易版〉

みんなで「震源地」の人の指示に従い、協力して動作をしよう。

- ・ 輪になって座る
- ・ 一人が「震源地」になり、「手拍子をする」「首を振る」などの動作をする
- ・ 他の人は震源地の人の動作を真似して動く

本来の震源地は輪の中に一人が居て、みんなの動作を見ながら誰が震源地か当てるゲームですが、幼稚科では、動作を真似するだけでも楽しいでしょう。

9月8日 使徒言行録21章1～36節

【小学科上級・中学科】

パウロの逮捕

1. 使徒言行録21：1～6を読みましょう。

①パウロたちは、どこから来て、どこに着いたところですか？

②ティルスの弟子たちは、なぜパウロに「エルサレムへ行かないように」と言ったのですか？

③ティルスの弟子たちは、浜辺で何を祈ったと思いますか？

2. 使徒言行録21：7～16を読みましょう。

④「例の7人」とは誰のことですか？ 6章も読んでみましょう。

⑤パウロは逮捕されると分かっていて、なぜエルサレムへ行く覚悟ができたのですか？

3. 使徒言行録21：27～36を読みましょう。

⑥神殿でパウロを捕らえたのは、誰でしたか？

⑦パウロが殺されずに済んだのは、なぜですか？